



# アグリ情報

# ちば



Agri Information CHIBA



私たち全農グループは、**生産者と消費者を**  
**安心で結ぶ懸け橋** になります。

6月初旬の市川市内



## CONTENTS

### 全農自己改革

- 生産資材コスト低減に向けた共同購入トラクターの取り組みについて

### 営農情報

- 水稲における当面の対策について
- 農業経営のリスクを減らしましょう  
— 食中毒に気を付けましょう —

### 園芸情報

- 販売経過および情勢

### 米穀情報

- 米麦情勢

### 肥料情報

- 水稲の穂肥適期施用について

### 資材情報

- 獣害対策(猪・鹿・キョン)  
電気柵が設置できない場所(道路・出入口)での有効策

### トピック

- 新たな食料・農業・農村基本計画とJAグループの主張  
～我が国の食と活力ある農業・農村を次の世代につなぐために～

全力結集で挑戦し、  
未来を創る

全農自己改革の  
取組状況

## 生産資材コスト低減に向けた 共同購入トラクターの取り組みについて

全農では、生産資材コストの低減に向けた大型トラクター（60馬力クラス）の共同購入の取り組みとして、平成30年7月より受注を開始しました。

お陰様で令和2年5月末現在で全国1,756台（うち千葉県84台）の受注をいただきました。共同購入への結集にご協力いただき、誠にありがとうございました。

第2弾となる中型トラクター（28～35馬力クラス）については、「令和2年7月に製品のご案内 10月の出荷開始」を予定していました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、人の移動が制約されて開発に遅れが生じていることから、やむを得ずスケジュールを見直し、発売の延期をせざるを得ないとの結論に至りました。

次のご案内は、今後の状況を見極めたうえで検討をまいります。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

**生産者&JA** 全国1万人以上の声を反映して **機能を厳選**

# 共同購入トラクター

## 中型 28～35馬力クラス

**事前申込受付中!**  
**共同購入への結集を!**

大型トラクターYT357JZは、全国から共同購入へ結集いただき、低価格を実現できました！  
次は、中型トラクターの共同購入に向けて、全国1万人以上の生産者アンケートおよび  
生産者代表との意見交換をもとに必要な機能を厳選し、メーカーに開発依頼しました。  
受付中の事前申込の積み上げが、低価格実現の大きな力になります。  
※事前申込は、ご購入の契約をするものではありません。

**令和2年2月まで 事前申込の受付**

令和2年7月以降 製品と価格のご案内  
令和2年10月以降 出荷開始  
2022年10月以降まで 3～6ヶ月経理で支払

**要求した主な機能**

- 標準300オートヒッチ装着可能
- 作業効率を高めてワークラッチ実装
- 長時間作業可能で燃料タンク
- 自動水平制御
- 自動耕深制御
- 後進ターン
- バックアップ
- オートブレーキ

JAグループ / 全農

共同購入は、JAグループで生産者の困りごとを、全農が生産者の代理人として一括して、仕入を行うことです。メーカーの製造・流通の効率化をうながし、生産者へ低価格メリットを還元する仕組みです。

# 水稲における当面の対策について

## 1. はじめに

移植後の生育は、「平年並み」で推移していますが、4月の早い時期の移植では強風・低温・雹による影響で生育はやや遅れ気味となっている圃場もあり、地域により生育のバラつきが出ています。

6月前半は気温がかなり高くなると見込まれていますので、生育ステージを確認し、中干し追肥等の作業が遅れないよう注意しましょう。

## 2. 近年の高温障害対策に！ ～中間追肥：けい酸加里の使用について～

けい酸と加里が同時に吸収されることにより、根の活力が高まり登熟向上につながります。また、受光体勢が良くなるので、光合成を促進させる効果もあります。施用時期・施肥量は11ページの肥料情報をご確認ください。

## 3. 分げつ数をチェックして中干しを実施しましょう

中干しが出来ず湛水状態を続けると、酸素不足によって土壌の還元化が進んで根が老化し、幼穂形成期以降の登熟期間の養分吸収が悪くなります。根が老化するとケイ酸、リン酸、加里などの吸収が抑制されるので、稲の体が軟弱気味になります。

「中干し」の  
効果は…

- 無効分げつの抑制と下位節間の伸長を抑え、倒伏しにくい稲にします。
- 土壌中に酸素を供給し、根を活性化させます。
- 機械作業に適した土壌硬度を確保します。

茎数が確保された圃場では速やかに「中干し」を実施しましょう。特にコシヒカリは倒伏防止のために遅れずに実施しましょう。

表1 品種別の中干し開始の目安

品 種	植付時期	中干し開始目標茎数		
		砂 質	壤 質	粘 質
ふさおとめ	4月20日	480本/㎡ (27本/株)	480本/㎡ (27本/株)	440本/㎡ (24本/株)
ふさこがね	4月20日	360本/㎡ (20本/株)		
コシヒカリ	4月20日	320本/㎡	310本/㎡	300本/㎡
	5月1日	(18本/株)	(17本/株)	(16本/株)

※（ ）内は60株/坪植えの時の1株当たりの茎数の目安

※疎植の場合はこの目標茎数に達しないことがあります。

## 4. 「ふさおとめ」「ふさこがね」は幼穂のチェック！

～穂肥の遅れに注意～

4月20日植えの「ふさおとめ」は6月中旬頃から幼穂形成期を迎えます。穂肥の適期は幼穂

形成期（出穂前25日）～出穂前18日（幼穂長1mm～10mm）です。「ふさおとめ」は施用が遅れると玄米中のタンパク含量が増加し、食味の低下を招くので注意が必要です。また、「ふさこがね」の穂肥適期は出穂前18日（幼穂長10mm）です。どちらも適期施用を心がけましょう。施用の際は、速効性のある肥料を使用しましょう。

**表2 品種別の幼穂形成期での生育目標と穂肥の施用適期**（栽植密度18.5株/㎡）

品 種	草 丈 (cm)	茎 数			葉色 (SPAD値)	出穂前日数 (幼穂長)
		砂 質	壤 質	粘 質		
ふさおとめ	55以下	570～620 (31～34本)		520～570 (29～31本)	4.0 (35～38)	出穂前25日 ～出穂前18日 (1mm～10mm)
ふさこがね	60～ 65以下	450～500 (25～27本/株)			5.0 (38～42)	出穂前18日 (10mm)

## 5. 倒伏軽減剤について

コシヒカリは幼穂形成期頃の茎数が過剰な場合や、草丈が75cmを超えると倒伏が心配されます。稲の生育状態に合わせて、倒伏軽減剤の散布を検討してください。また、大豆等からの復元田や倒伏の常発田においては倒伏軽減剤の散布をするようにしましょう。

**表3 倒伏軽減剤の使用時期と目安**

薬剤名および 使用時期	効 果 発現場所	7月15日頃 出穂の場合	7月25日頃 出穂の場合	10a当たり 使用量
ロミカ粒剤 (出穂25～10日前)	上 位 (2～3節)	6月20日 ～7月5日	6月30日 ～7月15日	2～3kg
スマレクト粒剤 (出穂20～7日前)	上 位 (2～3節)	6月25日 ～7月8日	7月5日 ～7月18日	2～3kg
ビピフルフロアブル (出穂10～2日前)	上 位 (1～2節)	7月5日～13日	7月15日～23日	1000倍液の100%散布 (散布ムラに注意)

## 6. イネクロカメムシ対策について

イネクロカメムシは斑点米カメムシ類と異なり、主に株元に寄生しイネの茎葉を吸汁します。県南から近年、県中央部でも見られ、発生が拡大しています。

加害されると葉先は黄変、捻転し、草丈は伸びず分げつが抑制されます。成虫は光沢のない黒色で体長8～10ミリ、防除は箱処理剤または本田防除（6月下旬）で対応します。



被害葉と成虫

対象害虫	薬剤名	使用量(10a)	使用時期	使用回数	備考
	キラップ粒剤	3kg	収穫14日前	2回以内 <sup>※1</sup>	湛水散布
カメムシ類	MR.ジョーカー粉剤DL	3～4kg	収穫7日前	2回以内	
	エルサン粉剤2	4kg	収穫7日前	2回以内	

※1：播種時または移植時前までにキラップシードFS等「エチプロール」を含む農薬を使用していた場合は使用回数に注意しましょう。

# 農業経営のリスクを減らしましょう

## — 食中毒に気を付けましょう —

### 1. 食中毒対策について

夏に向けて気温が高くなると微生物が増殖しやすくなります。特に病原性大腸菌（O157 [腸管出血性大腸菌]）等による食中毒に注意が必要となります。消費者へ安全な農畜産物をお届けするために、石鹼を使用した手洗いを徹底しましょう。

### 2. 石鹼を使って手洗いをしましょう！

手洗いチェッカーを使って  
手洗い前後の手を調べました！

- (1) 手洗い前（農作業後）の手を調べてみると、洗い残しの汚れが青白く光ります。
- (2) **水洗いのみ**の場合、まだ手は青白く光り**洗い残しが確認出来ます**。
- (3) **石鹼を使用した手洗い**の場合、青白い光がほぼ見られず**洗い残しがほぼありません**。



※画像は濃淡がわかりやすいよう、全て同じように明度を調整しています。

### 3. 家畜ふん堆肥は完熟たい肥を使用しましょう！

堆肥が未熟なままだと病原性大腸菌等が残っている可能性が高まります。堆肥は作物や作業者に触れる場合があるため、適切に完熟化した堆肥を使用しましょう。

#### 適切な家畜ふん堆肥管理

- (1) 被覆等を行い、堆肥表面温度を**55℃程度かつ数日間以上保つ**。
- (2) **切り返しを行い**、堆積物全体の温度が上がるようにする。
- (3) 堆肥を出荷調整場へ持ち込まないように、**場所に合わせて履物を履き替える**。

**日頃からの小さな衛生管理が 産地の食の安心・安全を守ります！**

## 園芸情報

## 販売経過および情勢

## 青果物 5月の販売経過

5月の天候は南からの温暖な空気に覆われたことにより、気温は全国的に高くなりましたが、降水量は東日本の日本海側で少なくなりました。日照時間は前線の影響を受けた沖縄・奄美を除き全国的にはほぼ平年並みとなりました。

5月の野菜の入荷量は、前年の約93%となりました。生育が前進していたことに加え、4月中旬以降の降雨や低温で、ほうれん草やはくさいを除く大部分の野菜は前年を下回りましたが、5月中旬の気温上昇と天候回復により、トマト類やきゅうりなどの果菜類は入荷量が回復してきています。野菜の価格は全体的に前年を下回る入荷が続いたことから前年比の110%となりました。たまねぎは北海道などから潤沢な入荷があり、外食・学校給食を中心とした業務需要が低迷したため、前年比約53%の厳しい価格となりました。

国産果実の入荷量は前年の約89%となりました。すいかは熊本の前年の生育の前進が顕著となったことから下旬に入荷量が急減し、近在産地も昨年の台風による施設への被害で入荷が少なかったため、総体では前年を下回る入荷となりました。果実の価格は前年の約109%となりました。りんごやかんきつ類は上回ったものの、おうとう・メロンは、新型コロナウイルスの影響から贈答や業務向けの需要が低迷し、前年を下回りました。

※数値は何れも東京都中央卸売市場統計データによる

## 東京都中央卸売市場の野菜入荷量および単価（5月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
上 旬	39,561	91.4	260	120.2
中 旬	41,655	93.6	227	99.0
下 旬	46,042	94.9	250	111.6
月 計	127,259	93.4	246	110.0

※上・中・下旬のデータは概算であり、月計と合わない場合があります。

## JA全農ちばの販売状況（5月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	34,121	91	152	116	5,174	105
果 実 計	1,571	81	357	103	560	84
だいこん	9,553	86	97	133	923	114
にんじん	3,397	104	140	107	474	111
キャベツ	12,466	96	120	140	1,494	135
ほうれん草	38	82	393	115	15	94
ね ぎ	1,117	83	343	109	384	91
春 菊	28	90	774	121	21	108
パセリ	48	74	548	86	26	64
きゅうり	1,532	85	206	115	316	98
ト マ ト	1,459	81	238	103	347	83
いんげん	91	65	939	92	85	60
そら豆	305	127	355	73	108	93
す い か	1,333	80	273	105	363	84

# 6月主要品目

## 作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+10%以上
やや多・やや高	+5%～10%
並	±5%以内
やや少・やや安	-5%～10%
少・安	-10%以上

入荷量・価格は東京都中央卸売市場の集計です

品名	入荷量 (t)		価格 (円/kg)		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	並	16,644	並	76	千葉群 葉城馬	各産地の生育は概ね順調。群馬は前進傾向となっていることから、下旬以降安定した入荷を見込む。価格は入荷増となる下旬にかけて弱めの展開となる見込み。
だいこん	やや多	7,266	やや安	82	青千 森葉	千葉は上旬である程度出荷量が落ち着く見込み。後続の青森は天候不順の影響から生育に遅れが出ているが、6月10日頃には出荷。価格は弱めの展開を見込む。
にんじん	やや少	6,473	やや高	123	千葉	千葉の作付け面積の減少に加え、作型の前進から前年をやや下回る入荷量を見込む。価格は入荷がやや少ないことから前年よりも堅調な推移を見込む。
トマト	並	8,511	並	253	熊柝千 本木葉	入荷は熊本に加え、遅れていた近在産地も本格化する。一方、東北産は曇天や低温の影響から遅れが散見され、総体では入荷・価格とも平年並みを見込む。
きゅうり	やや少	6,911	やや高	269	埼群福 玉馬島	埼玉等の関東産は成り疲れが散見され、福島等の東北産は出荷漸増傾向も、全体の入荷量は平年をやや下回る見込み。価格は平年をやや上回る見込み。
ねぎ	並	3,731	並	384	茨城	茨城の夏ねぎが主体。作柄は良好で、2L中心の出荷。露地作へ切り替わる中で一部細めとなるが、入荷量・価格とも順調であった前年並みを見込む。
ほうれん草	やや多	1,227	並	450	群茨柝岩 馬城木手	関東近在産地・岩手などの販売が中心。作付は一部で増加傾向で、生育は順調だが5月中旬の冷え込みでやや遅れが見られる。入荷量・価格とも平年並みを見込む。
パセリ	並	60	安	790	千長 葉野	春作産地は終盤に差しかかり、今後、長野の入荷が漸増見込み。入荷量は概ね前年並みとなるが、業務需要の低迷から荷動きが鈍く、価格は前年を下回る見込み。
とうもろこし	並	3,872	並	289	茨千山 城葉梨	関東産の生育は概ね順調。上旬にはトンネル物の出荷最盛期を迎え、中旬以降は露地物が出荷漸増傾向となる。価格は入荷量増に伴い、弱めの展開を見込む。
メロン	やや多	4,177	やや安	467	茨千熊 城葉本	千葉は6月上旬から出荷が出揃う。茨城・熊本は生育順調で、玉肥大も良好。価格は、新型コロナウイルスの影響から販売環境が悪く、しばらく軟調販売が続く見込み。
すいか	並	6,612	やや安	239	千熊鳥 葉本取	低温の影響で交配が遅れたことから、入荷は上旬までは少ない見込み。入荷動向によりやや厳しい販売も予想されるが、気温高の予報もあり需要は上向く見込み。

# 花 販売情勢

## ◆5月の販売経過【切花】

上旬は、母の日商戦に向けて各産地とも出荷の最盛期となりました。新型コロナウイルスの影響で動きが鈍い状況のなか、営業した店舗においては、平年並みの母の日販売となりました。通常では対面による販売が中心となりますが、外出自粛の影響から、本年はインターネット販売での需要が伸びる結果となりました。価格においては、来店者数の予想がつかなかったことから、店舗が仕入れを控え、ゴールデンウィークまでは低迷するものとなりました。その後、花き業界団体が推し進めた「母の月」の取り組みとした影響もあり、カーネーション、カスミソウ等の母の日商材の販売は持ち直しました。しかし、オリエンタルユリ、菊類等の業務系商材に関しては、月を通して厳しい販売となり、下旬においては、平年の2～3割安と低迷しました。

## ◆今後の見通し（7月）【切花】

緊急事態宣言解除に伴い、徐々に経済活動の回復は見込まれるものの、依然として冠婚葬祭・イベント等の自粛は継続することが懸念され、業務系商材は厳しい販売が続く見込みです。しかし、休業していた店舗が徐々に再開することから、一般消費向け商材には多少の動きが出始める見込みです。特に鉄砲ユリ等の盆品目に関しては、7月盆需要があることから、平年並みの販売となる見込みです。



## ◆今後の見通し（7月）【品目別】

品 名	作 柄 お よ び 概 況
トルコキキョウ	暖地から山形・福島・長野・岩手等の高冷地へ産地構成が切り替わる。平年並みの作付面積ではあるものの、暖冬と春先の気温高から、今後の入荷量に大きく影響が出る見込み。
ひまわり	千葉・北海道・青森・福島を主力に全国各地からの入荷。高冷産地では産地によって天候による生育前進が見込まれるため、入荷量の増減が顕著となる見込み。
千 日 紅	千葉を中心とした入荷。盆需要の動きを中心とした安定した販売見込み。
小 菊	茨城・福島・岩手を中心に各産地とも平年並みの作付面積。産地によっては、定植後の低温の影響から下位等級の発生が懸念されるも、全体としては平年並みの入荷を見込む。

## 米 麦 情 勢

## 1. 令和2年産の千葉県水稻生育状況（6月3日千葉県発表）

5月第4～5半旬の気温低下と日照不足の影響を受け、一時的に生育が停滞しましたが、その後、回復傾向にあります。4月植えの「ふさおとめ」、「ふさこがね」、「コシヒカリ」の生育は平年並み、「粒すけ」はやや遅れていますが、いずれも中干しを始める時期に入っています。目標莖数に達したら、中干しに入りましょう。莖数が不足している遅植えのほ場では、浅水管理で早期に莖数を確保しましょう。

気象庁の2週間気温予報では、今後の気温が高いことが予測されており、一気に生育が進み、幼穂形成期も予測より早まる可能性があります。早めに幼穂を確認しましょう。

表1 品種別の生育状況（6月1日現在）

品 種	植付時期	平年比 <sup>*</sup>			
		葉令の進み	草 丈	莖 数	葉 色
ふさおとめ	4月20日	並	並	やや少	並
ふさこがね	4月20日	並	やや長	やや多	並
コシヒカリ	4月20日	並	並	並	やや濃
	5月1日	並	並	やや多	やや濃
粒 す け	4月20日	やや遅	やや短	やや少	並

※平年比は過去10か年（2010～2019年）の平均値との比較。

ただし、粒すけは過去5年（2015～2019年）のデータとの比較。

## 2. 令和2年産米の需要に応じた米生産への主な取り組みについて

## (1) 主食用米の需給見通し

農水省がおこなった令和2年産の作付け意向調査（4月末）をふまえ、JA全中は作況指数が100となった場合、令和2年産の適正生産量（709万トン～717万トン）を大幅に上回る約732万トンとなると算出いたしました。全中算出の生産量の場合、令和3年6月末の民間在庫量は約202万トンとなり、適正水準とされる180万トンを大きく超える水準となります。

また、令和元年産米の4月末時点の民間在庫は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による外食需要の落ち込みなどで、205万トンと前年同月を7%（13万トン）上回っています（5月27日農林水産省公表）。このような状況を受け、現在、米穀相場は下落しており、令和2年産米相場への影響が懸念されます。

今後、交付申請書および営農計画書の提出期限が6月末から8月末へ延長となることから、主食用米の需給と価格の安定、所得の増大に向けて、複数年契約で交付金加算のある飼料用米や米粉用米への生産に取り組む必要があります。

## 令和2 / 3年の主食用米需給見通し

(単位：万トン)

令和2年6月末民間在庫量	A	187	187
令和2年産主食用米等生産量	B	709~717	732
令和2 / 3年主食用米等供給量計	C=A+B	897~904	919
令和2 / 3年主食用米等需要量	D	717	717
令和3年6月末民間在庫量	E=C-D	180~187	202

資料 農林水産省「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（令和2年3月）」

全中試算

## (2) 飼料用米の取り組み

生産面では、元年産飼料用米の取組計画認定数量は38万トン（前年産42万トン、計画対比▲37千トン）となり、主食用米の需給改善を背景に29年産以降、全国的に減産傾向となっています。しかしながら、需要については、農林水産省調べによると畜産側の令和元年産の飼料用米の年間需要量は約120万トンと需要量が供給量を大幅に上回ることが示されており、増産の余地はまだあるとの結果が出ています。

このような中、主食用米の需給と価格の安定とともに、政府が中長期的に取り組むべき方針を定めた新たな「食料・農業・農村基本計画」（令和2年3月31日 閣議決定）による食料自給率の引き上げに向け、飼料自給率を高めていくためにも飼料用米の増産は欠かせない状況にあります。

## 3. 生産履歴記録簿の中間チェックについて

間もなく中間チェックの時期を迎えます。記帳漏れや記帳間違いが発生してしまうと産地の信頼を失うこととなりますので、正確な記帳をお願いします。

なお、記帳シートは4枚複写（全農控・JA控・生産者控・中間提出用）になっており、最後の1枚（緑色）が中間提出用です。

## ★ここに注意してください。 ～記帳注意7カ条～

1. JA名は、必ず記入してください。支所名ではありません。
2. 作付圃場の面積を必ず「a」で記入してください。（「㎡」ではありません。）
3. 作付圃場の合計面積は、必ず記入してください。  
→購入種粉量と作付面積の整合性が重要です。
4. 出穂日は、必ず記入してください。  
→異品種の混入を点検する大事な確認作業です。
5. 住所、電話番号、捺印は忘れずに記入してください。
6. 選別網目サイズは、必ず記入してください。
7. 生産資材の使用量は、10a当たりで記入してください。

## 4. 令和2年産麦を取り巻く環境について

令和2年3月に農林水産省が公表した「麦の需給に関する見通し」によると国内の食糧用小麦の総需要量は、580万トン（前年+1万トン）と見通されています。

その中で、消費者の国産志向の高まりに伴い、国産麦の需要も高まっており、2年産については小麦で約7.2万トン、小粒大麦で約1.3万トン、実需者の購入希望数量が生産者団体の販売予定数量を上回る状況となっております。このことから、実需者からは確実な集荷数量を求められている状況です。

千葉県産麦の安定的な販売を図るためにも集荷数量の確保が重要ですので、出荷契約数量の全量出荷へのご協力をお願いします。

### 販売予定数量・購入希望数量の推移（JAグループ+全集連）

（単位：トン）

		小麦	小粒大麦	2麦合計
2年産	販売予定数量①	808,792	43,380	852,172
	購入希望数量②	880,438	56,803	937,241
	②－①	71,646	13,423	85,069
元年産	販売予定数量③	823,914	42,624	866,538
	購入希望数量④	862,976	52,361	915,337
	④－③	39,062	9,737	48,799

## 5. 令和2年産麦の品質向上対策について

5月下旬から県内の麦産地では、大麦の収穫がスタートし、6月上旬からは小麦の収穫作業も始まっております。先月号でもお知らせしましたが、収穫後の麦の品質向上に向けて、下記のポイントのとおり、適正乾燥・仕上げ水分・調製にご留意ください。

### ★品質向上のポイント

#### 1. 適正乾燥

乾燥始めは、通風乾燥を行いましょう。

また、乾燥機の穀温は、40℃以下となるようにお願いします。

#### 2. 仕上げ水分

仕上げ水分は、小麦・大麦とも10.5%以上～11.0%以下とし、水分の計測方法は、水分計での計測をお願いします。

#### 3. 調製

粒選別機の網目は、2.2ミリ以上とし、未熟粒の混入を防ぎましょう。

**肥料情報**

# 水稻の穂肥適期施用について

## けい酸加里 異常気象への対策に！

近年、夏場の異常高温や頻発する台風の影響で、お米の収量や品質の低下が見られます。けい酸加里の施肥で、気象変動に備えましょう！

**倒伏対策に** ケイ酸の効果でイネが硬くなるため、倒伏の軽減が期待できます。

無施用区 | けい酸加里区

静岡県掛川市（H21年）

**高温対策に** ケイ酸と加里の登熟促進効果で、乳白米発生量の軽減が期待できます。

区画	乳白米発生割合 (%)
無施用区	5.6
けい酸加里区	2.4

高温登熟条件下の玄米外観品質に及ぼすケイ酸質肥料の効果（金田：秋田県立大 2012 グリーンレポート No.511 一部改変）

**けい酸加里肥料 施肥時期と使用量**

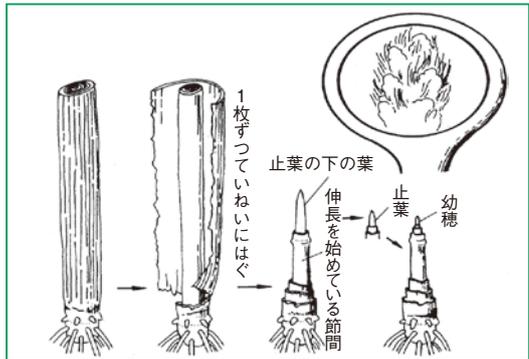
田植え後35～45日（中干し前）  
30～40kg / 10a

保証成分（基肥の場合：耕起前40～60/10a）

＜溶性加里	可溶性けい酸	＜溶性苦土	＜溶性ほう素
20%	34%	4%	0.10%

## 水稻の穂肥 適期・適量施用を！

- ①出穂前18日頃（幼穂長1cm）に生育状況に合わせて施用してください。
- ②早すぎる施用は下位節間を伸ばし、遅すぎる施用は、玄米中のタンパク質含有量を上げるので注意してください。



幼穂の確認方法（出典：農文協農業技術体系作物編P134）

### 水稻用 穂肥銘柄一覧

銘柄名称	成分 (N-P-K-Mg)	特徴
化成肥料17-0-17	17-0-17	速効性肥料で素早く効かせたい時に最適（集約銘柄で安価）
マップ484	14-8-14-4	リン酸を含んだやや緩効的に効くタイプ
軽量追肥15	22-2-14	高成分の速効性肥料。15kg袋の軽量タイプ
穂肥34号	15-4-15	天然腐植酸入り。緩効的に効くタイプ
有機追肥530特号	15-3-10	有機質とウレアホルムを含む穂肥専用肥料
コープショート28	14-2-17	倒伏軽減剤入り穂肥専用肥料

肥料情報

資材情報

# 獣害対策（猪・鹿・キョン）

## 電気柵が設置できない場所（道路・出入口）での有効策

### イノシシ・シカ対策（舗装道路、コンクリート面への設置） 「わたれませんLight」

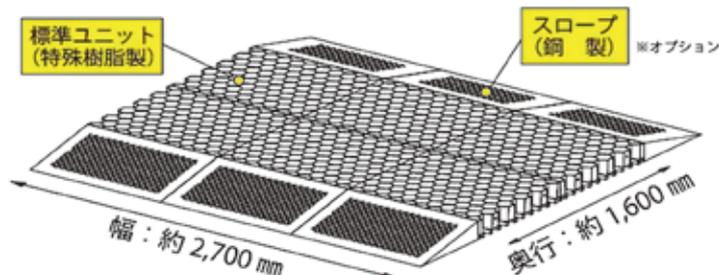
#### 1. ハニカム構造のグレーチング形状が効果的

イノシシ、シカ等は、足の爪が二つに割れているのが特徴の偶蹄類で、足元が安定していない場所を忌避する性質を有しております。「わたれませんLIGHT」はその性質を活かし、不安定になりやすい六角形のハニカム構造のグレーチング形状となっております。足元が不安定でわたれない構造（忌避行動を利用した）でイノシシ・シカの侵入を防止することが可能です。

#### 2. 「わたれませんLight」の特徴



【設置例】標準ユニット：幅3列×奥行2連（スロープは除く）



開発・製造元：(株)赤城商会  
供給元：(株)DMMアグリイノベーション

●軽さと耐荷重を両立する「ハニカム構造」

- イノシシやシカ類が渡りづらい「ハニカム(六角形)構造」です。
- ユニット1枚の重さは約20kgながら、総重量4 t相当の耐荷重を実際の車両通行試験で確認しています。

●カンタン設置

- 平らな地面にユニットを置き、ボルト等で幅や奥行き方向に連結する構造なので、設置が容易です。
- アンカーを用いて、地面との固定も可能です。

●耐候性・高耐久性

- 特殊「オレフィン系架橋樹脂」の採用により紫外

線や低温環境下での物理変化が少なく長期間ご使用いただけます。

- 強度や耐衝撃性、耐薬品性（特に耐アルカリ、耐酸性）にも優れています。
- タバコのポイ捨てに対しては、十分な難燃性を有することが実際の試験により確認済みです。

●メンテナンスが容易

- ユニット下部に排水スペースを設けており、土砂等が堆積した際にはホース等による流水処理が可能です。
- 流水のみで流れにくい場合は、ユニットを地面から浮かせて処理してください。

お問い合わせは、お近くのJAまたはJA全農ちば資材課（TEL043-245-7379）まで

TOPIC

## 新たな食料・農業・農村基本計画と JAグループの主張



～我が国の食と活力ある農業・農村を次の世代につなぐために～

### 新たな基本計画、これからの指針

平成から令和へ、日本農業は、少子高齢化、担い手不足・耕作放棄地の増大などの問題が山積する中、政府は「新たな食料・農業・農村基本計画」を3月に閣議決定した。基本計画は、今後10年間の農業政策の方向性を示すもので5年ごとに見直しされている。

### 基本計画の見直しに対する JAグループの主張

今回、計画見直しに関してJAグループは、食料安全保障のリスクが高まっていることを改めて強調した。その背景にあるのが、過去最低となった2018年度の食料自給率37%という数値だ。さらに、この食料自給率を支える国内生産基盤の弱体化に歯止めがかかっていないという点にある。

1点目の食料自給率については、将来的・世界的には、食料がひっ迫するのではないかと懸念がある。日本は、少子高齢化に向かっているが、世界的にみれば人口は、1年で1億人ほどの増加傾向にある。その人口増加に食料増産が追いつくのか？将来的に地球の温暖化・自然災害の発生によって、輸入が途絶えた際に国民の食料を賄いきれるのか？

内閣府が実施した世論調査においても国民の8割以上が「将来、我が国の食料安定供給に不安がある」と回答している。

2点目の国内生産基盤の脆弱化については、初めて食料・農業・農村基本計画が策定された2000年度から、2018年度までの間に農地面積・農業就業人口ともに急激に減少しているという実態がある。2018年度の農地面積は442万ヘクタール。2000年度と比較すると41万ヘクタール減少してい

JAグループ千葉 統一広報

る。農業就業人口に至っては、2018年度175万人で2000年度の45%以下にまで減ってしまった。新規の就農者数が低迷する中で、誰が、地域の農地を保全し、農業生産を担うのかということだ。

これまで政府は、「農業の成長産業化」を強調してきた。しかし、「農業経営の大規模・法人化を促進するだけで、日本の農業は維持できない。わが国の農業を維持するには、農業経営体の9割以上を占める家族農業・中小規模農業者を含め全ての農業者が持てる力を発揮することが重要である。」というのがJAグループの主張だ。そして、中小規模農業者・家族農業経営に視点を当てていかなければ農村はなくなってしまうという危機意識である。「家族農業」「兼業農家」などの多様な人たちが農地・農村にかかわっているからこそ国内生産基盤と多面的機能をもつ農業・農村地域が維持できるとするのが、JAグループの立ち位置である。加えて、これらを実行するには、食農教育の実践や国民的議論の深まりが必要であると政府・与党にも要請してきたところである。

### JAグループの主張は どのように計画に反映されたか

見直しされた基本計画の食料自給率の目標は、2030年度に45%までに引き上げるとするものである。目標数値の45%は、25年度までの従来計画と同じで達成時期が5年延長された形であり、国内生産の増加による食料自給率の向上は数値化されなかった。一方で、今回の基本計画の見直しにおいては、地域をいかに維持し、次の世代に継承していくのかという視点の下、担い手の育成・確保や農地の集積・集約を進め、規模の大小や中山間地域といった条件にかかわらず農業経営の底上げにつながる対策を講じていくこととしている。

そして、この計画を通じて農業者はもとより、国内の現状を未だ知らない人達に、食料・農業・農村が直面している現状や課題への理解を促すとともに、食料供給や、国土保全などの多面的な役割を果たす農業・農村は「国の基」という認識を共有し、国内全体で、農業・農村を次の世代につなげていきたいという考えを示した。とりわけ「家族農業・中小規模農業者」や「農村の多面的機能」については、計画の中では、次のとおり具体的な記述がされている。

「農業者の一層の高齢化と減少が進行し、農業の生産基盤の脆弱化が危惧される中、地域の農業生産や必要な農地を確保し、持続可能なものとしていくためには、担い手等への経営継承を促しつつ、産地単位で連携・協働し、統一的な販売戦略や同販売を通じて継続的に農地を利用し生産を行う農業者や収穫時など農繁期の臨時労働者など、多様な人材や主体の活躍を促進することが重要である。」

農村の振興による施策については、「農村は、国民に不可欠な食料を安定供給する基盤であるとともに、農業・林業など様々な産業が営まれ、多様な地域住民が生活する場でもあり、さらには国土の保全、水源の涵養、美しく安らぎを与える景観の形成、生物多様性の保全、文化の継承といった多面的機能が発揮される場であることから、都市への恵沢も踏まえた多面的機能の振興を図ることが必要である。」と農村の多面的機能が明記された。

## まとめ

新たな基本計画には、中小家族農業の重視や、農村の多面的機能など、JAグループの主張が多く盛り込まれた。JAグループとしては、後掲のJA全中会長談話にあるとおり、各団体との連携のもと食料安全保障の確立に組織をあげて取り組みを進める。また、新型コロナウイルスの感染拡大の最中に決定されたこの基本計画の見直しを契機に食料・農業・農村について消費者を含めた国民全員の理解が進むことを期待するものである。

(千葉県農業協同組合中央会)

## 自給率関連の各種指標の目標

	2018年度 (実態)	2030年度 (目標)
カロリーベースの総合自給率	37%	45%
生産額ベースの総合自給率	66%	75%
飼料自給率	25%	34%
カロリーベースの食料国産率	46%	53%
生産額ベースの食料国産率	69%	79%

飼料が国産か輸入かを問わない

**新たな指標「食料国産率」も導入。**

## 【食料・農業・農村基本計画の閣議決定にあたって】

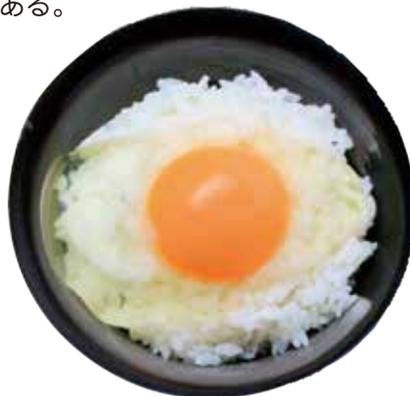
全国農業協同組合中央会（会長談話）

※下記は一部抜粋

新たな基本計画の「実践」元年を迎えるが、この基本計画の「実践」こそが、わが国の食料、農業、地域の行く末を左右することとなる。そのため、食料自給率をはじめ基本計画に掲げた目標等を前倒して達成・実現できるよう、徹底した対策・取り組みが不可欠である。

そして、何より、わが国の食と活力ある農業・農村の実現に向けて、国民の皆様にも、農業・農村の実態を理解いただき、農業・農村を支えたいと思っただけことが重要である。

JAグループは、農業は「国の基」との認識のもと、現在、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目標とする「創造的自己改革」の実践に総力を挙げており、引き続き、消費者・行政・関係団体・事業者の皆様と連携し、食料安全保障の確立などに向け、組織をあげて取り組む所存である。



JA全農インターネット通販



JAタウン 千葉県産農畜産物のご贈答・お取り寄せなら

# JA全農ちば 愛情いちばん館

ほんの一例です/  
主な取扱商品

JAタウン“JA全農ちば 愛情いちばん館”では、産地自慢の「ちばの味」を全国へ産地直送でお届けしています。贈り物やご自宅用に是非ご利用ください。

## とうもろこし

「本州でとうもろこし生産量No.1を誇る千葉県の、代表的な産地JA木更津市・JA山武郡市(さんぶぐんし)から、『ゴールドラッシュ』などをお届けします!どれも甘くて、フルーティーな香りとさわやかな食感。黄色の粒はとっても柔らかです。あまり皮が口に残らないのもいいですよ!産直だからもちろん新鮮、もぎたてをお届けします!



## いすみの完熟ブルーベリー

酸味と甘味のバランスがよい、“完熟”ブルーベリー!完熟したものだけを収穫し、粒の大きさまでこだわったものを大切にお届けします!



## 旬のフレッシュボックス

お米・お味噌・お花とその日に生産者が持ち寄る季節の農産物を盛りだくさんに詰め込んだ、旬の特産品ボックス!内容は季節によって変わります。

## フルーツ&キャロットジュース

カロテンを多く含む緑黄色野菜の「にんじん」に4種の果物をミックスした栄養と味のバランスのとれた飲料です!



## うふふなメロン(2種詰合せ)

青肉(緑色)の貴味メロンと、赤肉の貴味レッドを1玉ずつ詰合せました!ジューシーなメロンをお届けいたします!



お問い合わせ

全国農業協同組合連合会 千葉県本部 園芸部 園芸直販課  
TEL 043-245-2911



## お知らせ

JA全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆様との情報交換の場となるよう努めて参ります。身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

## アグリ情報“ちば”に係る個人情報取り扱いについて



組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報、は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用いたします。

## JA全農が提供するラジオ番組



TODAY'S AGRI NEWS  
EVERY Mon-Fri AM 6:30-6:35

6:30~6:35 毎週(月~金) **生放送**  
新鮮農業情報をお届けします。

あぐりずむ  
WEEKEND

9:30~9:50 毎週(土) **放送**  
生産者の熱い思いをお届けします。

ZEN-NOH  
COUNTDOWN  
JAPAN

13:00~13:55 毎週(土) **生放送**  
全国の農畜産物をプレゼントします。

